

各 関 係 大 学 長 殿  
各 関 係 機 関 長 殿  
関 係 各 位

東京藝術大学美術学部長  
日比野 克彦  
(公印省略)

教員の公募について(依頼)

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
さて、この度本学部では、下記のとおり教員を公募することといたしました。  
つきましては、貴機関関係者への周知方、よろしくお取り計らい願います。

記

1. 募集人員 東京藝術大学芸術研究院純粹美術表現領域 講師又は准教授 1名
2. 所属・専門等 美術学部絵画科 日本画専攻 / 大学院美術研究科絵画専攻 (日本画)
3. 担当授業等 学部では日本画実技及び古典模写指導に関わる授業および講義科目を、大学院では日本画創作研究に関わる講義、研究指導及び論文指導を担当する。  
上記の他、学生生活指導、入試及びその他の大学運営業務に携わる。
4. 採用予定時期 令和2年4月1日
5. 任期 採用にあたっては、定年(満67歳)を上限として、講師は5年、准教授は10年の任期制(更新可)が適用される。  
※更新については任期末1年半前までに更新希望の有無を確認の上、再任評価を行い、任期末の1年前までに更新の可否を決定します。
6. 給与 東京藝術大学職員給与規則に基づき支給
7. 就業時間 専門業務型裁量労働制(1日7時間45分働いたものとみなす)
8. 休日 本学規定による
9. 社会保険等 文部科学省共済組合
10. 応募資格 下記の各項を満たす者
  - (1) 日本画創作の活発な活動業績を有すること
  - (2) 日本画実技及び古典模写の、教育研究における能力を有すること
  - (3) 学部、大学院修士課程・博士後期課程学生の教育研究指導にあたることができること
  - (4) 修士以上の学位を有する者、もしくは同等の実績を有すること
  - (5) 採用後、通勤可能な範囲に居住できること(上野校地、取手校地)
  - (6) 国籍は問わない、ただし、上記の教育に支障のない日本語能力を有すること

11. 選考方法

- (1) 第一次選考：書類審査 令和元年9月上旬 結果は書面にて通知する。  
(2) 第二次選考：面接審査 令和元年9月19日(木) 詳細は第一次選考合格者に通知する。  
(なお、面接に要する旅費等は自己負担とする。)  
(3) 候補者内定：令和元年11月中旬頃

12. 提出書類

- (1) 履歴書(写真貼付。生年月日、連絡がつく電話番号・メールアドレス等を明記のこと)  
(2) 業績リスト(日本画作品の発表、研究、教育、社会活動の実績を含めた画歴)  
(3) 作品資料(ポートフォリオ、図録、画集など)  
(4) 教育指導に関する抱負と計画  
(A4判用紙、1000字程度、書式自由、ただし日本語に限る)  
(5) 着任後の研究計画  
(A4判用紙、1000字程度、書式自由、ただし日本語に限る)  
(6) (3)の作品資料返却用の返信用切手・封筒(必要な額の切手を貼付、返送先を明記した封筒)  
なお、宅配便での返送希望場合は「着払い」伝票に返送先を記入の上、返信用封筒と共に同封すること

※(1)～(5)はいずれもA4判用紙を基本とする。

※提出書類は全体で4kg以内とする。

※提出書類は採用事務にのみ使用し、その他の目的に使用することはありません。

13. 書類提出先

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

東京藝術大学美術学部庶務係 宛

※提出書類は、書留郵便、ゆうパック又は宅配便による配達記録が残る方法で送付し、封筒又は箱の表面に「日本画教員応募書類在中」と朱書きすること。

14. 書類提出期限

令和元年8月30日(金)17時までに必着(厳守)のこと。

書留郵便、ゆうパック又は宅配便による配達記録が残る送付物以外は受理しない。

15. その他

本学では平成28年6月に公表した「大学改革・機能強化推進戦略2016」に基づき、ダイバーシティな大学環境実現のため、女性や外国人等の教員・研究者への支援を推進しています。

(東京藝術大学ダイバーシティ推進室HP <http://diversity.geidai.ac.jp/>)

【本件に関する問合せ先】

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学美術学部庶務係(担当：本橋)

(問合せは、必ず文書によること。)

FAX：03-5685-7765

